

個人質問 35人の議員が行った質問の要旨

教育・市民生活



平成24年完成予定の後楽館中学校・高等学校
～イメージ図～

後楽館中学校・高等学校での 障害児受け入れ体制

問 平成24年に新校舎が完成する予定の後楽館中学校・高等学校での障害児受け入れ体制は。また、高等学校での支援体制は。

答 新校舎では、「エレベーターや車いすでも使用できるトイレの設置」「段差を減らす」などバリアフリーを取り入れており、一定の受け入れができる。

また、障害のある生徒の支援については、高等学校においても、校内の教職員による支援体制を第一に考え、必要に応じて特別支援教育支援員の活用を検討したい。

岡山市スポーツ振興基本計画 23年度に策定予定

問 市のスポーツ振興基本計画の現在の状況は。

答 市のスポーツ振興基本計画は、平成20年度に実施した市民アンケート調査結果等に基づき作成した検討資料をもとに、関係団体等と調整を行っている。

22年秋ごろには、その概要をまとめ、市議会やスポーツ振興審議会に諮り、23年度の早い時期に計画を策定したい。

避難支援台帳の拡充

問 平成20年6月から作成を進め、地域で活用している災害時要援護者避難支援台帳へは、対象者が希望すれば制限なく登録してよいのでは。

答 同居家族がいても昼間一人になるなど災害時に不安がある人で、

避難支援台帳への登録を希望する人は、今までも登録できた。

今後とも、自助・共助の取り組みの一つである避難支援台帳の整備を積極的に広報し、名簿登録者の拡充を図り、災害弱者が安心して暮らせる地域づくりを進めたい。

男性のためのDV相談

問 加害者になることが多い男性の相談は、いつどのように実施するのか。

答 DV相談件数の多さからも、DVに関連する何らかの悩みを抱えた男性が相当数存在していると考えられる。

男性が相談しやすい窓口の設置については、平成22年秋ごろまでに

設立予定のDV対策庁内ネットワーク会議で協議し、具体化に向けた検討を行っていききたい。

戦災資料と平和学習の充実

問 ①戦災資料の収集状況は。

②平和学習のために岡山空襲のDVD等をどう活用するのか。

③戦災遺跡マップを作成してはどうか。

答 ①平成22年5月中旬時点で、市民から寄せられた資料は約200点、戦災体験談は約50件。

②本年が戦後65年目に当たるため、次の世代を担う小中学生に対する平和教育の教材として活用できるよう、DVDやリーフレットを新たに作成し、市内の小中学校や公民館、図書館に配布する。

③今回新たに作成した「岡山空襲の記憶」というリーフレットの中に、21カ所の被災建築物説明板の位置概略図を掲載している。



福祉・まちづくり

父子家庭も

児童扶養手当の対象に

問 改正児童扶養手当法のポイントは。

答 父子家庭も受給できるようになったことである。

父子家庭においても、母子家

庭と同様に経済的に厳しい状況に置かれている家庭に対して経済的支援が行えるようになった。

法の施行が平成22年8月1日からとなるため、8月分から支給対象となる。